

事業仕分けの実施結果について（報告）

事業名	公共交通対策事業（コミュニティバスの運行）	担当課	企画政策課
-----	-----------------------	-----	-------

市民判定人の評価	要改善
仕分け人の評価	要改善

評価結果	不要・凍結	国・県・広域	要改善	現行どおり・拡充
市民判定人の評価	2	0	13	2
仕分け人の評価	0	0	4	0

コーディネーター・仕分け人の指摘事項

《要改善と評価した仕分け人の指摘》4名

- ① 市民（高齢者）ニーズの最も高い施設の玄関前の乗りつけや、山間地・海辺集落住人を中心にNPO法人での運行も考えるべき。
- ② バスとデマンドタクシーの比較は再び行うべき。どういう条件になると損益が変わる（バスとタクシーどっちが安くなる）か検討して考えるべき。
- ③ 利用ニーズ、利用者数の把握が必要。バスを使わない人の手段があるのだから、その手段（車）を流用（利用）したらどうか。他の事業との重複があれば検討してほしい。
- ④ 買物支援が始まるとのことなので、バス利用が更に減っていくと予想される。様々な手段を早く検討してほしいです。
- ⑤ 状況が厳しいというのはよく理解しているつもりですが、住民の理解が必要なので、費用負担も含め具体的な説明をしていくべきだと思います。
- ⑥ 見直しが進むということなので、検討するなら、ターゲットを分けるべきと思う。観光客も、観光ルートが確立され、回りやすくなるとニーズが増える。

市民判定人の声の紹介

- ・コミュニティバスを否定するわけではない。「交通手段」について、バスが本当に適切か、必要か考える必要があると感じる。
- ・バスの利用者の少なさに驚きました。バスに税金を使うことで他の事業に影響を及ぼすことを懸念します。
- ・乗り合いタクシーなどとバスを運行させる金額をぜひ比較検討してほしい。
- ・他の福祉事業との連携などの検討が必要では。
- ・市民の交通手段の確保は大切だと思うが、利用実態を考えると、走らせる車両のサイズは現状でよいのか、コンパクトにして便数を増やすことが可能か検討できるのか。
- ・山間部、過疎地域の人たちへの援助も必要では。将来のロードマップを検討してほしい。